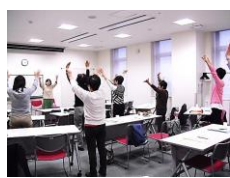


市民企画講座の報告 [まちの福祉しらべ隊]

『元気で老後を過ごすために自分ができることは何か考えませんか?』(10/20・11/17の全2回)



第1回「寝たきりにならないために」では市職員・理学療法士の山口 有美さんより介護状態にならず健康寿命を延ばすための生活上の注意点や毎日簡単に続けられる体操・下半身筋力トレーニング等を学んだ。

また第2回「心と体を動かし日々深化しよう」では(医)光ヶ丘病院で複数の資格をお持ちの八嶋 清美さんよりご自身の病気から心身とも立ち直ったきっかけとなった中国体操の中で優しい気功を楽しく学び、癒しと笑顔をたくさん戴いた。

市民企画講座の報告 [高岡つきの会]

『「ひきこもり」を考えよう! ~みんな、ありのまま、等身大で、たいぶよぶ~』(11/13)



今回の講座では、竹川慎吾さん(富山大学名誉教授)、山岡和夫さん(ひきこもり家族自助会とやま大地の会 代表)を聞き手として、ひきこもり当事者や家族の話しを聞き、その支援のあり方と理解を深めた。「褒められることがうれしい」ことや「ひきこもりをする人は生きる気力がある人」という当事者の話しや、犬を飼うことによって本人や家族に与える効果など、支え合うことの大切さを学んだ。

高岡市男女平等推進

〒933-0023 富山県高岡市末広町1-7
(ウイング・ウイング高岡6階)
tel.(0766)20-1810 fax.(0766)20-1815

E-mail: gec@city.takaoka.lg.jp
HP: http://www.city.takaoka.toyama.jp/gec/kurashi/kyodosankaku/center/index.html

センターだより

2016
12月1日発行



「ありて」は、自分の力で問題解決していくイギリスの童話「アリーテ姫の冒険」の主人公の名前です。「私の未来は私が創る」とアリーテはいます。

●日誌抄● ~10月&11月~

- 10月13日(木) 情報誌「ありて」第6回編集会議
- 20日(木) 市民企画講座(企画:まちの福祉しらべ隊) [第1回]~寝たきりにならないために~
- 23日(日) ウイング・ウイング祭「男女平等 EXPO 高岡 2016」
「勇気を出して育児取得!!」
~みんなですすめる! ワーク・ライフ・バランス~
・ワーク・ライフ・バランス推進事業認定証授与式
・講演:男性が育児休業を取得した方がいい5つの理由(講師:平塚 啓さん)
・ワークショップ(みんなであらう! ポップアップカード)
- 11月12日(土) 女性に対する暴力をなくす運動(~25日)
・パネル展示・DV 予防啓発チラシ街頭配布等

- 11月13日(日) 市民企画講座(企画:ふあん・ふあしい Caf ☺)
「チームビルディング」ファシリテーションでチームが動く
[第1回]チームが持つ場をいきいきさせる
市民企画講座(企画:高岡つきの会)
「ひきこもり」を考えよう!
- 15日(火) 情報誌「ありて」第7回編集会議
- 17日(木) 市民企画講座(企画:まちの福祉しらべ隊) [第2回]~心と体を動かし日々深化しよう~
- 19日(土) 市民企画講座(企画:チーム abundance)
「自分のコミュニケーションスタイルを知ろう!」
[第1回]コミュニケーション 4つのタイプ
- 23日(水) 学習支援事業(高岡市デートDV 予防啓発チーム)
「デートDV 知っていますか?」
~大人になる前に知ってもらいたい~

相談室のご案内



相談室専用電話
(0766)20-1811

- 専任相談員が、DV や生き方、夫婦の問題などいろいろな相談を受けています。
【予約が必要です。】
- 相談時間
(月・火・水・金・土)9:30~16:30
(木のみ) 14:00~20:00
※日曜・祝日・毎月第4月曜・年末年始は休みです。

「高岡市男女平等問題処理委員会」

高岡市では、男女平等・共同参画の推進に関する市の施策に対して苦情がある場合、また性別による差別的取扱い等により、人権侵害の問題が生じた場合には、「高岡市男女平等問題処理委員会」へ申し出ることが出来ます。

制度、内容については、**男女平等・共同参画課**へお問合せください。
TEL(0766)20-1812

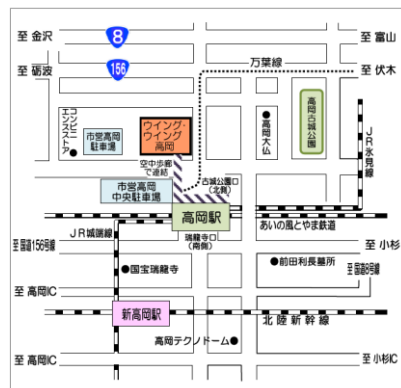
高岡市男女平等推進センターのご案内

【休館日】毎月第4月曜日・12月29日~翌年の1月3日

高岡市男女平等推進センターは、男女平等・共同参画社会を実現するための拠点施設です。相談、講座等の開催、男女平等・共同参画を進めるための市民活動やネットワークづくりの支援、図書の出し入れや情報誌の発行等による情報提供などを行っています。

〒933-0023 富山県高岡市末広町1-7(ウイング・ウイング高岡6階)
TEL(0766)20-1810 ・ FAX(0766)20-1815

E-mail: gec@city.takaoka.lg.jp
HP: http://www.city.takaoka.toyama.jp/gec/kurashi/kyodosankaku/center/index.html



子どもの貧困を女性の視点から考える



国際大学子ども育成学部 教授

かや たまき
彼谷 環 さん

高岡市男女平等推進センターネットワーク会議委員の彼谷環と申します。本務校の富山国際大学では、専門である日本国憲法やジェンダー論を講義しています。また、学生の就職活動を応援するキャリア支援センターの業務にも関わっています。

私が所属する子ども育成学部には、小学校教諭や社会福祉士のほか、「女性の職業」というイメージの強い保育士・幼稚園教諭を目指す学生が大勢います。近年、男子学生がその領域に積極的に進出する様子を見ていると、それぞれ思い描く「なりたい自分」になれることは幸せだなあと感じます。

さて、高岡市男女平等推進センターでは、毎年秋、登録活動団体が中心となって「Eフェスタ」を開催しています。今年最終日は、パネルディスカッション「おせっかいぎ in 高岡~子どもの貧困~」が開催され、コーディネーターを務めました。支援する側・受ける側の双方からパネリスト4名が登壇。個人的体験を基に繰り出されるパネリスト同士のやりとりは、大変緊張感があり、公的機関やマスコミが公表する貧困の数値だけではわからないこと

が随分ありました。とくに、支援する側・受ける側の間に信頼関係が存在しなければ、支援も一方的で形式的なものに陥ってしまうことがわかりました。

平均所得の半分以下の世帯で暮らす17歳以下の割合を、「子どもの貧困率」と言います。日本16.3%(2012年厚生労働省)は、OECD加盟34か国中25位という状況です。その背景には、「ひとり親」世帯の相対的貧困率が54.6%、とくに母子世帯の平均年間就労収入が181万円と低いこと、そのほとんどが非正規就業であることが窺えます。これを解消するためにも、雇用の場における格差是正が喫緊の課題であり、就学援助制度のさらなる充実が必要であることを痛感します。

子ども育成学部の学生たちも、児童生徒の学習支援活動に積極的に関わっています。今後も学生たちとともに、子どもが自由に未来を夢見ることができる社会、男女平等の実現に向けた活動を続けていきたいと思っています。